

令和4年度 洋上風力発電人材育成事業費補助金

事業紹介

2022年 12月

MOLマリン & エンジニアリング(株)

1. 事業テーマ

洋上風力発電事業に従事するDPS (Dynamic Positioning System: 自動船位保持装置) 搭載作業船の乗組員に対する操船訓練

・ 事業目的

DPS搭載各種特殊作業船の要員に向けた訓練カリキュラムの開発・導入。
DPに関する基礎理論から船種別シミュレーターによる実務に即した操船まで、
系統立った正しい知識の習得や操船技能の向上を目指す。

・ その背景

DPS搭載作業船の活躍の場が増えつつある中、国内ではDPオペレーターの
有資格者は極少数であり、操船訓練のための施設も極めて少なく、体系的な
教育や訓練を受けることが難しい。

当社DPTトレーニングセンターはNI(※)認証を取得できる国内唯一の訓練施設。

(※) The Nautical Institute: 本部イギリス。国際的に認証されているDP操作オペレーター資格の発行機関。

2. 事業目標

来年度末までに拡充を計画しているDPS搭載作業船4船種のうち、今年度は、CLV (Cable Laying Vessel: 海底ケーブル敷設船) 及び AHTSV (Anchor Handling Tug Supply Vessel: アンカー作業タグ補給支援船)、2船種の訓練カリキュラムを開発、導入を目指す。

CLV



AHTSV



当社DPシミュレーター



船種別に、また、体系的な教育や訓練を受けることで、技能の他、操船や保守に関わる安全性や確実性、効率性に対する訓練受講者の意識を高めることを目的としている。

3. 事業内容概要

・今年度の計画

- ① シミュレーター船舶モデル導入に関する検討、訓練開発のための専任DPインストラクターを招聘
- ② 2船種 (CLV、AHTSV) の船舶モデルを使用した訓練カリキュラムを開発
- ③ CLV訓練開発において、特に電力ケーブルに関するインストラクターの教育が可能な会社を起用
- ④ 来年度に導入予定の2船種 (WTIV、SOV) の船舶モデルの仕様等検討、メーカーとの交渉、発注
- ⑤ より優れた訓練カリキュラム開発のために、②～④の過程において、当社要員による海外他社のトレーニング施設視察、DP搭載船舶上での操船者へのヒアリング、関係する研修を受講する、等

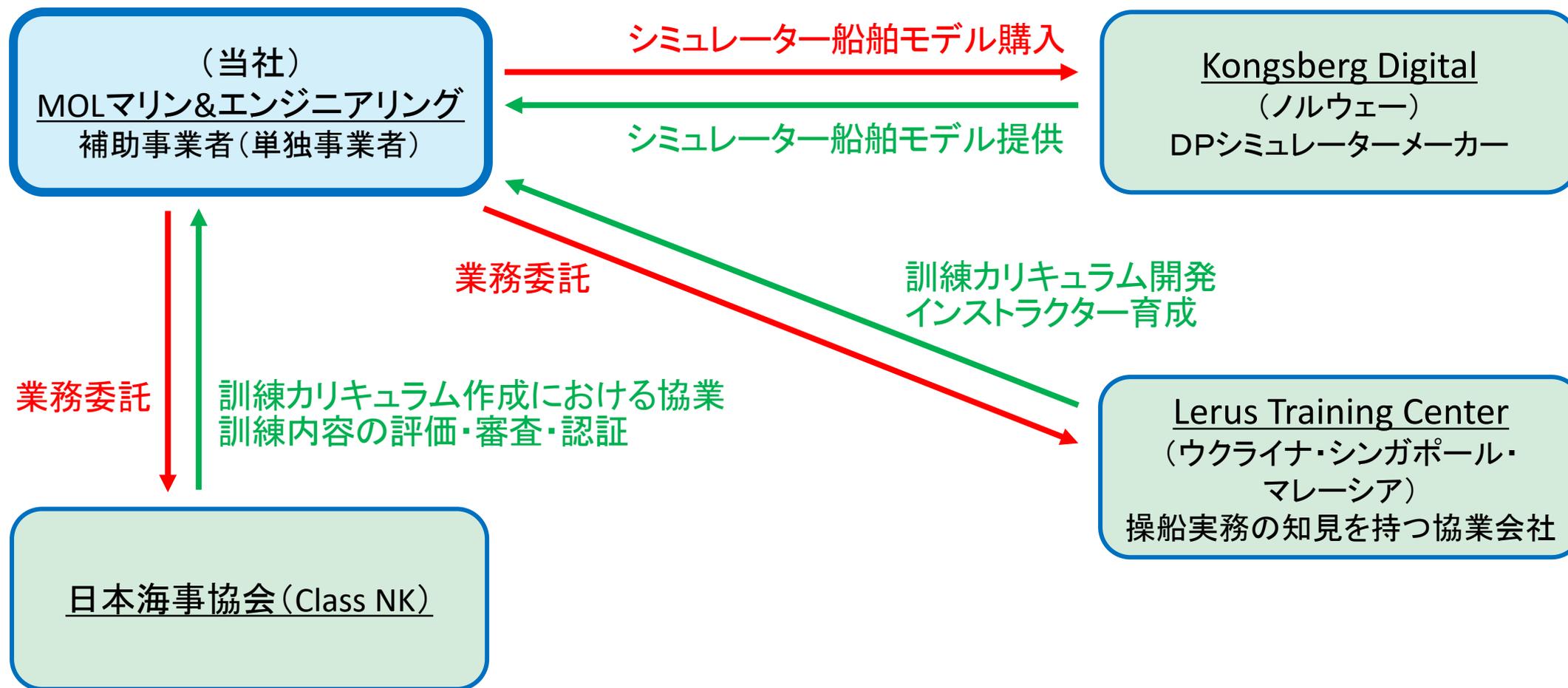
・今年度の成果指標

- ☑ 2船種 (CLV、AHTSV) の訓練カリキュラムを適切に検討、開発し導入したか
- ☑ その訓練カリキュラムについて、第三者機関による認証を受けたか
- ☑ 訓練カリキュラムのトライアルを計画どおり実施したか (目標は4回、受講者8名)
- ☑ 受講後の達成度テスト合格者率70点以上100%、受講者の派遣元からの顧客満足度70点以上

・その効果測定方法

成果指標に対する自己評価に加え、計画の進捗や実施状況について、第三者機関 (Class NK) による審査・評価を受けることを検討している。

4. 実施体制



5. 実施スケジュール

